

2025年11月12日 発行

第19号

工務部会



JR東労組(東日本旅客鉄道労働組合)

工務部会

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1

代々木総合事務所5階

NTT 03-5315-0941 JR 058-4112

発行人 杉本博輝 発行 編集委員会

俺たちの声を聞け！！その①

11月11日、JR東労組は申6号「2025年度 年末手当について」第3回交渉において、①基準額は基準内賃金の3.0ヶ月に0.1ヶ月を加算した3.1ヶ月、②支払日は12月3日(水)とする回答を受けました。JR東労組は、持ち帰り組織内で議論して判断することを告げ、交渉を終了しました。

年末手当 3.0+0.1ヶ月では納得がいかない！！という声が多いことから、急遽ですが、アンケートで意見集約を行いました。特徴的な意見は以下のとおりです！！

33名回答(JR東労組組合員24名、未加入者9名)

【年末手当の基準額】 基準内賃金の3.0ヶ月について、どのように思いますか？

【①納得できる 2名、②納得できない 23名、③わからない 8名】

①納得できる

・3.0ヶ月を超えたので。

②納得できない

・これだけ働いても3.0ヶ月、年間6ヶ月に届かないなんて、どこまで働けば以前の水準に追いつくのか。
・3ヶ月出たが要求に届いていない。上方修正したのに、年間6ヶ月にも行っていない。現場を見ていません。
・上方修正をしてかつ、社員数が減っている中でも社員に還元しない会社なんだ
・率直に出たと思ってしまったのが最初の正直な思い。しかし交渉報告と最後の組合からの提起を聞いて、年間6ヶ月に戻す。会社経営でいくらでもできる設備投資で営業利益が下げられては自分たちの努力で稼いだお金が経営の失敗を被せられているように感じ、要員不足も経営のトップが認識していないことからすればギャップを感じる。
・要求に遠く及ばない。支給額だけ見れば増えたように見えるが支出の方が増えてる。支出増加に追いついてない。社員数が当時と減ってて違うのだから増えてるように見えるのは当然。
・回答書を読んだが、職場の苦労、努力に報いていない回答。これまでの働きに見合っていない。
・会社は社員に180%の働きを求めておきながら還元は少なすぎるし見合わない。180%というならば3.7ヶ月以上出すべき。
・個人としてはこの間の社員の頑張りにとても報いているとは感じられない回答であり納得感は全くない。
・運賃値上げや近年の組織再編のいい加減さに見合った金額でない。
・賃金については、中長期での社会情勢の変化を予測して設定する必要がある。一方で、そのときの社会情勢を反映するための手当だと認識している。そのときの社会情勢とはつまり物価である。低く抑えるというのは日本政府の方針には反対であると捉えてることにする。
・物価高騰が続くな、この額では物価高騰をカバーしてると思えない。また優秀な若手人材を引き止めるためにも若年層だけでも手厚くすべき。
・過去より利益を出しているのに、なぜ3.0ヶ月で止まるのかが分からぬ。コロナ前はもう少し貰っていた。当時とは物価が違うので、もっと貰ってもいい。
・すでに聞き飽きた感が強いが物価上昇に対しての賃金が追いついてない。経営陣はこの状況を解っているのか。
・業績が回復している時は、社員に還元すべきだ。
・営業費用を理由に出すなら高輪ゲートウェイは本当に必要な施策だったのか疑問。経営陣の自己満で高輪が未来への投資なら理由に出すのは携わった人への冒涜。
・営業利益という経営側の投資判断を踏まえたものを回答理由にしている。過去最高額とは言うものの、比較対象の2007年とは大きく物価が異なり、全く根拠になっていない。回答をプレス発表し、あたかも決まったかの如くマスコミに打ち出している。妥結していないのにプレス出すのは労働組合軽視に他ならない。

③わからない

・世の中的にはもらっていると思うが、昨今の物価高を考えるとどうかな？
・今後、段階的に上げていくなら理解する。このまま横ばいなら不満。
・評価体系が不明確。真面目にコツコツと着実に仕事をしている社員が正しく評価されているか怪しい。
・前年より上がっているため。
・世の中の情勢を反映されてると思えないから。

